

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年11月10日（木）現在

【 果 樹 】

<リンゴ>

相場は弱保合で、仲卸もこれまでの荷を抱えているため、引き合いが弱くなっている。

「サンふじ」

特秀 26 玉 4,000～3,500 円 秀 4,000～3,000 円 ○秀 3,000～1,800 円

特秀 32 玉 3,800～3,000 円 秀 3,500～2,500 円 ○秀 3,200～1,800 円

【 野 菜 】

<きゅうり>

宮崎県産は今後も増量が見込まれているが、東北産の切り上がりが進み、関東産も抑制作は終盤のため減少する見込みも、末端の荷動きが重く厳しい販売環境となっている。

@ A 1,900 円 ～ 1,600 円

<いちご>

昨年と比べ全国的に生育は遅く、入荷量は少なく推移している状況。11月中旬からは各産地出揃いとなり、全体量も日々増加となる見込みから、相場を下げ量販店の売場拡大に向けた販売となる見通し。

@ L 1,000 円 A 700 円

<に ら>

入荷量は概ね横ばい程度で、荷動きは良いが販売環境に大きな変化は無く、相場は保合展開となる見通し。

@ A L 85 円 ～ 75 円

<春 菊>

関東産の増量と福島県産ハウス作のピークに向けた増量が見込まれ、全体量は増量となる見通しから相場を下げ荷動きを促す販売となる見通し。

@ A 110 円 ～ 80 円